

「叱らない親、怒らない親に育てられた子どもはどう育つ？」という記事を目にしました。書かれている内容に賛同しながら、ちょっと自分の思いを述べていきます。

私が教員として勤務していた時は「子どもを怒ってはいけない、しっかりと叱ってあげなさい。」と言われてきました。

「怒る」と「叱る」はどんな違いがあるのか、一般的にこの両者の意味はどうか、と広辞苑を調べたことを思い出します。

「叱るとは（目下の者に対して）声をあらだてて欠点をとがめること」「怒るとは激して気があらだつこと」

んっ！辞書的にはどちらも大差はないじゃないか。そのことも含めて当時の同僚の先輩が教えてくれました。「怒るは子どもの行動に満足がいけないために不満の感情をぶつけてしまうことで、叱るとは望ましい行動に導くために順序立てて教え諭すことだから、怒らないで叱るように心がけなさい！」

でも、自分自身の心の余裕や教育的な技術不足もあって、叱るって難し過ぎると思ってしまったのも事実です。当時の児童生徒には申し訳なかったと、心から反省しています。

時代は変化して、今は親でさえ子どもに対しての愛ある体罰は御法度になりました。強い言葉で感情的に激高することも…です。

目の前の子どもをよりよい方向に導きたいと思うのは当たり前です。問題なのはその手段だろうと思います。叱らないとか怒らないという子育てが、もし、子どもがよくない行動を取ったときにも「子どもだから大目に見て」と何も言わないのであれば、子どもは許される行為だと勘違いしてしまうのではないかと危惧しています。このことが続くと多くの場合、成長と共に親が手に負えなくなってしまうかとも思います。小さいうちは良いとしても4・5歳にもなれば行動範囲が広がり、親が振り回されてしまう可能性が高くなり、我慢が苦手とか気持ちの抑制ができないなどの悩みが増えて、“王子さま化”“王女さま化”してしまうことも少なくないのではないかと感じています。

また、感情をぶつけたとしても、それは改善にはならず、多くの場合、子どもに反抗され改悪してしまいます。さらには子どもに対し、困ったときは相手に怒鳴り散らせばいい、という誤った手本を示すことにもなりかねません。

子どもが自然に世の中のルールを学ぶかといえば、そんなことはありません。誰かが教えてあげなければ学べないこともたくさんあります。

前述したとおり、叱るとは望ましい行動に導くために順序立てて教え諭すことだとの先輩の教えは正しいのですが、叱る、怒るの言葉の問題ではなく、子どもの前では大人が感情を荒げない、ということが大切なのだと思います。感情を荒げなければ、子どもは傷つく言葉を言われることもないため、怖い思いもしなくてすむこととなります。

大人は子どもを正しい方向に導かなければなりません。子どもにとって、何がよくて、何がダメなのかを、感情抜きで伝えるのは、とても、とても難しいのですが、親も私たちも目指す方向性はここにあります。だからこそ私たち大人が、自分の気持ちのコントロールをどのように整理し調整していくのが一番のポイントと言えるかもしれません。

園長 藤嶋 勇人

2月の行事予定

2月 2日(金)	豆まき会
7日(火)	英語活動③(3・5歳児)
19日(月)	食育の日
21日(水)	ようこそ師匠(3・4歳児)
22日(木)	誕生会
28日(水)	避難訓練

節分(豆まき)

「節分」とは、季節を分けるという意味があり、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことです。昔は立春が1年の始まりだったので、節分といえば立春の前の日を指すようになりまして、悪いものや災いに例えた鬼を豆をまいて追い払い、1年の無病息災を願います。

今年の節分は、土曜日なので、2月2日(金)に豆まき会を行います。今年はどうな鬼を退治しようかな？

1月の遊びの様子



カルタ・すごろく遊び



ゆき遊び



お正月の雰囲気存分に楽しみました。

運動遊び



ルールのある遊びも友達と楽しめるようになっていきます。

今年は暖冬で雪が少ないですが、雪が積もったときには積極的に雪遊びを楽しみました。2月は冬ならではの遊び存分に楽しんでいきたいと思います。

6歳になります
 2月生まれのお友達
 1歳になります
 5歳になります
 4歳になります

3歳になります 2歳になります

お願い

1月中は胃腸炎などの感染症に罹患した子が多くみられました。園の方では引き続き感染予防対策を徹底していきます。ご家庭でも体調管理には十分気を付けていただきますようお願いいたします。

お知らせ

鬼のお面
 1月末から2月末(予定)まで県総合庁舎向いファミリーマート北秋田鷹巣店に、ゆい・ひまわり・ぼろ組の子どもたちが塗った鬼のお面の塗り絵が飾られています。機会がありましたら、ご覧ください。

